

第5回

流山手話フェスタ

2024

デフリンピックを応援しよう！！

入場無料

令和7年

1/19日

13:00 - 16:35

受付開始 12:00～

会 場

流山市生涯学習センター(流山エルズ)

多目的ホール

流山市中 110 番地

TEL (04)7150-7474

FAX (04)7159-6639

〈プログラム〉

12:10～

【映画上映】「みんなのデフリンピック」

【手話コーラス】「しゅわしゅわ★デフリンピック」

13:00～オープニング

第1部： 13:25～

【講演】

「東京2025デフリンピック」

～情報バリアフリー、コミュニケーションバリアフリーを求めて～

一般財団法人全日本ろうあ連盟

常任理事・事務局長 久松 三 二 氏

第2部： 14:35～

- ① ミニ講演「音声が見える空手道」
& 子ども達による空手「形」の演武

日本手話で教える空手道教室

「朋心会」代表指導者

高橋 朋子氏

朋心会・流山市拳成会の子ども達

- ② 「デフリンピック」その先を目指して

デフリンピック運営委員会運営委員

自転車競技日本代表

早瀬 久美氏

【トークショー】 16:05～

東京2025デフリンピック
公式マスコット「ゆりーと」



©東京都 #第2024-1-3号

東京2025デフリンピック公式マスコットに、都のスポーツ推進大使である「ゆりーと」が任命されました。公式マスコットは、「東京2025デフリンピック応援隊」の先頭に立って大会広報や気運醸成を行うほか、大会運営においても活躍しています。ゆりーとデフリンピックデザインでは「桜の花卉」がモチーフとなっている大会エンブレムとの統一感を生む桜色を用いたTシャツを着用しています。

〈主催〉 流山市デフ協会

〈共催〉 流山市手話言語普及促進委員会

〈協力〉 流山市生涯学習センター指定管理者アクティオ株式会社・流山市民活動推進センター・流山市手話サークル連絡協議会
千葉県手話通訳問題研究会流山班

〈後援〉 流山市・流山市教育委員会・流山市社会福祉協議会・松戸人権擁護委員協議会流山部会・流山市障害者団体連絡協議会
NPO法人流山市スポーツ協会・流山ロータリークラブ・流山中央ロータリークラブ・日本ヘルスパレーボール連盟
流山市少年サッカー連盟

◎講師プロフィール◎

久松 三二(ひさまつ みつじ)氏



一般財団法人全日本ろうあ連盟
常任理事・事務局長

秋田県出身

経歴

2006(平成18)年
全日本ろうあ連盟入局
理事・本部事務所長

2010(平成22)年～現在
全日本ろうあ連盟 常任理事・事務局長

2023(令和5)年
デフリンピック運営委員会委員長
日本障がい者スポーツ協会理事、内閣
府障害者政策委員会構成員等を歴任

早瀬 久美(はやせ くみ)氏



大分県出身。
2001年法律が改正されろう者として
初めて薬剤師となる。

現在昭和大学病院で薬剤師として勤務。
スポーツファーマシストとしてパラリンピック
およびデフリンピック医科学委員会
委員を務める。

自転車競技日本代表選手として2013
年ブルガリア・ソフィア夏季デフリンピック
競技大会および2017年トルコ・サムス
ン夏季デフリンピック競技大会、2022年
ブラジル・カンサス・ド・スル夏季デフリン
ピック競技大会でマウンテンXCO女子銀
メダルを獲得し3大会連続メダルとなり、
横浜市スポーツ栄誉賞、東京都民スポ
ーツ大賞を受賞。またサムスン大会では
日本選手団主将を務めた。

高橋 朋子(たかはし ともこ)氏



全日本ろう者空手道連盟 会長
(一社)日本ろう空手道協会 代表理事
公益財団法人全日本空手道連盟
公認4段

尚心派系東流空手道連盟 5段
公益財団法人日本スポーツ協会
公認コーチ

日本手話で教える空手道教室「朋心会」
代表指導者。
高校の時に空手道場拳心会に入門し、
心技体を磨いた。
2008年世界ろう者武道選手権大会およ
びデフリンピックプレ大会にて、女子組手
で金メダルを獲得。テコンドーやキックボ
クシングへと格闘技の幅を広げたのち、
空手指導者に至る。

現在は日本のろう者空手指導者の先駆
者として、社会への理解促進や
普及啓発活動を行っている。

デフリンピックの歴史

2012/12/5 国立大学法人 筑波技術大学 教育関係共同利用拠点「聴覚・視覚障害学生の
イコールアクセスを保障する教育支援ハブの構築」ろう者学教育コンテンツ開発事業より引用

実はデフリンピックはパラリンピックよりも歴史が長い!!

年	世界初のろうスポーツ団体
1871	グラスゴーろうあサッカークラブ設立(イギリス)
	世界で初めての障害者の国際スポーツ組織
1924	国際ろう者スポーツ委員会(CISS)設立
	第一回世界ろう者競技大会開催[International Silent Games](パリ)
	このときは一緒に参加していた
1988	ソウルパラリンピック開催(オリンピックとパラリンピックを連動させた初の大会)
1989	国際パラリンピック委員会(IPC)創設(CISS,ISM,GF,ISOD,IBSA,CP-ISRA 及び INAS-FMH が参加)
1995	CISS が IPC を脱退
	ここから以前と同じように独自の道を歩むことに
2001	「世界ろう者競技大会」を「デフリンピック」に改称

なぜデフリンピックを…?!

デフリンピックは、耳のきこえない選手のための国際的なスポーツ大会です。なお、「Deaf」は英語で、耳がきこえない人という意味です。

1924年に初めてフランスで夏季大会が開かれ、オリンピックと同じように4年に1度、夏季大会と冬季大会が2年ごとに交互に開催されています。

東京2025デフリンピック

開催期間：2025年11月15日～26日

ICSDの公式ロゴマーク

国際ろう者
スポーツ委員会



これは、「デフリンピック」の手話を表したロゴマーク。
ろう者のデザイナー、ラルフ・フェルナンデス(Ralph Fernandez)
作で、国際的なろう者スポーツのコミュニティのポジティブでパ
ワフルなシンボルとなっています。
このロゴマークは下記のような「手話」「ろう文化」「結束と継続」と
いった強い要素が集約されています。

- ①「OK」と表現した手の形に、「GOOD」「GREAT」にも意味する国際的共通サインが存在している。
- ②このような手の形を両手にして繋ぐように表現すると「結束」と表現される。手話言語社会での仲間たちの結束。
- ③「OK」の手の形の中央は「目」を表現しており、ろう者が視覚中心の文化的生活を営んでいることを示している。

また、赤色 青色 黄色 緑色の四色でデザインされているが、
アジア太平洋、ヨーロッパ、全アメリカ、アフリカと4つの地域連
合を表現していて、団結を訴えています。



◎問い合わせ先◎

流山市手話言語普及促進委員会

FAX 04-7148-1866

メールアドレス

nagareyama_deaf@yahoo.co.jp (小野寺)

電話 080-7203-8230(鈴木)

出典：一般財団法人全日本ろうあ連盟 スポーツ委員会 HP

ICSD ロゴに関する一切の知的財産権は、国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)が保有し、日本では全日本ろうあ連盟が管理しています。